

(別記様式)

平成24年度 府立城陽支援学校 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（計画段階・実施段階）

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
1 いのちと人権を大切にした、安心して安全な教育の推進 2 児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた教育の推進 3 出口へのスムーズな接続 4 医療・労働・福祉等と連携した、地域や保護者から信頼される学校づくりの推進 5 学校組織・運営の改善	1 成果 (1) 通学高等部卒業生8割以上が企業就労 (2) ホームページの定期更新など情報発信の充実 (3) 若手を含めた人材育成の推進 (4) 不登校支援研修会など地域支援の推進 2 課題 (1) 作業学習など教育課程実践研究の継続 (2) 法改正に伴う医療的ケアの適切な実施	1 個別の教育支援計画、個別の指導計画の活用と改善及びPDCAサイクルによる指導の充実 2 キャリア教育に基づいた教育課程の推進 3 超重症児への指導システム等の推進 4 新学習指導要領に基づく指導の充実 5 地域支援の推進

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
1 組織・運営	(1) 専門性の向上・人材育成の推進	・初任者研修、校内研修他において若手教員の専門性の向上を図る。 ・各教育部の研究テーマにそった実践研究を推進する。		
	(2) 広報活動の推進	・地域の学校等を訪問し、病弱教育部の啓発を行う。 ・教育実践を発信する校内掲示を工夫する。 ・学校公開日を設け、地域理解を図る。		
	(3) 病院、関係機関等との連携	・前籍校(出身校)指導連絡会、ケース会議等を行い、児童生徒の把握を図り指導を行う。 ・指導連絡会等をふまえ、新病棟との連携体制を構築する。		
	(4) 個に応じた進路希望の実現	・新たな実習先、就労先の開拓をすすめる。(通) ・前籍校、進学先との連携による個々のニーズに応じた指導を行う。(病)		
2 地域支援	(1) 不登校・学校不適応支援への巡回・外来相談の推進	・校内の特別支援教育コーディネータと連携をし、相談活動の校内支援を行う。 ・不登校支援を中心に、地域の学校や関係機関		

		<p>および他校地域支援センターと連携した相談支援を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校にかかわる小中学校等の生徒指導・教育相談担当等との連携を図る。 ・転出入する学校と連携を密に行い円滑な移行、継続的な支援を行う。(病) 			
	(2) 発達障害・不登校に関する研修支援の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・発達障害、不登校の支援を学校や関係機関と連携して行う。 ・発達障害等の二次障害や不登校に対する支援についての研修会を開催する。 ・地域支援センターと研究部、病弱教育部との連携による研修を進める。 			
3 教育課程 (学習指導)	(1) 指導と評価の一体化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の指導計画による指導と評価の連動を進め、授業改善へ反映する。 ・個別の指導計画と個別の教育支援計画の連動システムを整理、改善する。 			
	(2) キャリア教育に基づいた教育課程の実践研究	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の児童生徒の障害や病気の実態をふまえ、キャリア教育のあり方を整理する。 			

学校関係者 評価委員会 による評価	
-------------------------	--

次年度に 向けた改善の 方向性	
-----------------------	--